

中村 雅一  
議員

# 地域防災計画の見直しは

## 修正は必要と考える



あきる野市地域防災計画

問 災害対応について

① 東日本大震災を踏まえ、地域防災計画の見直しはあるのか。

② 市民への適切な情報提供と風評対策・対応はどうか。

③ 高齢者世帯や病氣療養者（慢性疾患者等）の災害弱者対策は十分か。

④ 地域防災計画で示している市外へ外出中の市民の帰宅困難者対策では「帰宅困難者心得10か条」などの啓発に努めるとあるが、これらの啓発を徹底すべきと思うがどうか。

### 総務部長

① 市の計画は東京都の計画をベースに策定した。東京都の見直し内容と今回得た教訓を踏まえ、修正は必要と考えている。

② 風評排除は極めて困難であるが、広報誌、メール等の活用とともに町内会・

自治会等とも協力し、正確な情報発信に努めることが最良と考える。

③ 地域と協力し、高齢者などの世帯、障がい者等を災害時支援対象者として安否確認等を行う体制づくりに取り組んでいる。

④ この心得10か条にある携帯ラジオ、帰宅地図等、日頃からの備えについてなど、広報、ホームページ、防災・安心地域委員会等で啓発したい。

他に小・中学校のクラブ活動について質問した。

清水 晃  
議員

# ミゾゴイの保護対策は 生物多様性社会の仕組りに努める

問 ミゾゴイ（環境省絶滅危惧IB類、世界絶滅危惧種）の繁殖地保全について

ミゾゴイは世界にわずか千羽以下（IUCN国際自然保護連合）とされ、トキやコウノトリと並ぶ貴重な鳥で、本市と日の出町において、全国の約2%が繁殖していることがわかってきた。

繁殖地の多くは私有地で、埋め立てや開発により急速に失われつつあり、繁殖地の保全を図ることが喫緊の課題である。

生物多様性の保全が叫ばれている今、市の早急な対応について伺う。

### 環境経済部長

ミゾゴイは森林レンジャーなどの調査で生息を確認している。うす暗く湿気が多い環境を好み、これまで確認出来なかった貴重な鳥である。本市の森には多くの絶滅危惧種や希少動物が生息しており、それぞれの地域や自然保護団体と連携



世界絶滅危惧種ミゾゴイ

しながら保全活動を進めている。ミゾゴイの保護対策についても、郷土の恵みの森づくりの活動を通じ、地域、森林レンジャー、環境保護団体及び有識者等と情報交換を行い、生息環境の

異なる動物の生態系を踏まえた、生物多様性社会の仕組み作りに努めたい。

他に節電対策と再生可能エネルギーについて質問した。



## 地盤沈下などの被害想定は 適切な対策が取られている

**問** 災害時の安全対策について  
① 原小宮地域や屋城小など、崖を造成して建てた住宅や、田んぼだったところに建てた建物は、地盤沈下などの被害を想定しているか。また、専門家に調査を要請すべきと思うかどうか。



上：崖を造成して建てた住宅 下：多摩川近くの住宅地域

② 多摩川の近くにある230棟の住宅地域の出入口は1箇所しかないため、災害時の緊急避難通路を作れないか。  
③ 希望する自治体に、東京都が放射能汚染測定器を貸し出すとの報道がされた。本市でも独自に放射線量を測定すべきと思うかどうか。

### 総務部長

① 東京都の建築基準に基づいて、適切な対策が取られていると認識している。旧秋川地域の土砂災害警戒区域の指定は、今後、東京都が順次実施する予定のことである。

② 浸水の危険がある場合には、京浜河川事務所が呼びかけを行う。順序よく避難できるように、自主防災組織の組織化や、避難経路の調整も進めたい。

### 環境経済部長

③ 現在、健康等に影響はないと認識しているが、市民の不安を取り除く対応は必要である。6月10日の東京都説明会を受け、広域的に測定基準が作られた段階で、適切に対応する。

**他に住宅リフォーム助成制度の拡充と、住宅の耐震診断・耐震補強助成について質問した。**

**問** 安心・安全のまちづくりについて  
東日本大震災により原子力発電所が停止したこと、計画停電が実施され、家庭及び事業所等で不自由をされた方や、事業への影響を心配された方がいると思う。今後も消費電力量に不安を抱えるなか、本市は夏期の節電対策等をまとめ、節電



津波で決壊した堤防（宮城県名取市）

に向けた取り組みを全職員で進めている。また、太陽光発電の普及も進めてはいるが、今後は原子力発電の見直しも予想され、消費電力を抑える努力や再生可能エネルギー利用等が求められる。環境都市として、また後期基本計画の中で、地域全体で独自の取り組みを進める必要があると思うが、

環境経済部長  
本市は、東日本大震災からの復興を支援するため、「想いはひとつがんばろう！日本」をスローガンに掲げ、夏の節電対策では、本庁舎で20%の電力削減を目標にするなど、自主的に取り組んでいる。また、「環境都市あきる野」の具体化に向けて、太陽光発電・太陽熱利用などの設置助成の継続、家庭用雨水貯留槽の設置助成の創設など、再生可能エネルギーや水資源の有効活用の事業化を進めている。温暖化対策についても、森林資源活用から郷土の恵みの森づくりの拡充やカーボンオフセットの検討など、本市ならではの環境対策を進め、今年度は、温室効果ガスの排出抑制等の総合的な計画である地球温暖化対策地域推進計画も、事業者や市民の協働で策定予定である。



岡野 悦史  
議員

## 環境都市としての取り組みは

本市ならではの対策を進める

本市の考えを伺う。

### 環境経済部長

本市は、東日本大震災からの復興を支援するため、「想いはひとつがんばろう！日本」をスローガンに掲げ、夏の節電対策では、本庁舎で20%の電力削減を目標にするなど、自主的に取り組んでいる。また、「環境都市あきる野」の具体化に向けて、太陽光発電・太陽熱利用などの設置助成の継続、家庭用雨水貯留槽の設置助成の創設など、再生可能エネルギーや水資源の有効活用の事業化を進めている。温暖化対策についても、森林資源活用から郷土の恵みの森づくりの拡充やカーボンオフセットの検討など、本市ならではの環境対策を進め、今年度は、温室効果ガスの排出抑制等の総合的な計画である地球温暖化対策地域推進計画も、事業者や市民の協働で策定予定である。



秋留台地に広がる畑

澤井 敏和  
議員

## 放射性物質の測定は

安全性の確認に努めている

問 安心安全まちづくりについて

① 特定公共物について

ア・特定公共物の適正管理とは。また、無償使用させることに問題はないか。

イ・無償・有償のちがいが不公平感を生むと思うが、この問題をどう考えているか。  
ウ・特定公共物の調査を行い、有効活用を行えるか。

② 震災関連について

ア・安心して地産地消が出来るよう、市独自の放射性物質の測定は行っているか。また、今後の予定は。

イ・災害に強い都市空間とは。  
ウ・災害に強い市民の育成とは。  
\*特定公共物：国から譲与され、地方自治体が財産として管理している道路・水路など。

都市整備部長

①ア・市特定公共物管理条例に基づき管理している。

イ・現地の把握を行い、使用者と話し合いをもつて対処したい。

副市長

ウ・道路台帳等を整備し、未利用地等は用途を廃止して処分する方針である。

経済環境部長

②ア・市独自では実施していないが、東京都の検査体制で安全性の確認に努めており、今後も同様と考えている。

総務部長

イ・都市空間整備は、狭隘道路の改善や上下水道耐震化等がそれに当たると考える。  
ウ・市民が災害時に冷静沈着な行動をとることができるように、日頃から防災意識を養い、高めていくことが不可欠と考える。

他に学校の環境衛生について質問した。

## 公園等に健康器具設置を

他の状況を見ながら研究したい

奥秋 利郎  
議員



市外の公園に設置された健康器具

問 介護保険給付費は平成20年度には、制度が始まった12年度の約2倍に膨らんだと聞く。増え続ける介護保険給付費の抑制を考えると、高齢者が元気で生活すれば、みんなの負担が減ることとなる。港区や千代田区のように、当市でも、一人でも多くの方が要介護状態にならぬよう、公園や

健康福祉部長

遊具の設置場所、費用、

介護抑制効果、遊具が継続的に使用される方法など、すでに設置している他自治

校庭の端に健康器具を設置し、利用促進したらどうか。また、二次予防事業対象者に対する地域支援事業としての健康体操は、一クール12回で非常に効果が出ているとの事であり、一クルールの延長はどうか。更に、二次予防事業対象者でなくても高齢者であるなら、この制度を利用出来るようにされたい。

予防事業対象者についても、希望があれば健康体操を受けられるよう、対象を広げられることも検討する。

他に学校や家庭での緑のカーテンについて質問した。

## 東京都へ対する決議案を可決

第35回秋川流域市町村下水道建設促進協議会総会



檜原村役場住民ホールでの総会



挨拶する市倉議長（当時）

あきる野市、日の出町及び檜原村の議会で構成する秋川流域市町村下水道建設促進協議会総会が平成23年5月20日に開催され、当市からも議長をはじめ委員が出席しました。

この会は秋川流域下水道の建設促進を図ることを目的とし組織され活動しています。

檜原村役場住民ホールで開催された第35回総会では、平成22年度の報告や平成23年度の計画案が承認され、「多摩川流域下水道秋川処理区の事業に関する決議」が可決されました。これにより、本年8月に東京都へ要望活動を行う予定です。

## 西多摩建設事務所による進捗状況説明

平成23年度秋川南岸道路建設促進協議会総会



あきる野市役所での総会

あきる野市及び檜原村議会で構成する秋川南岸道路建設促進協議会総会が平成23年5月20日に開催され、当市議会からも委員が出席しました。

この協議会は、秋川の南岸を通る道路の建設促進、研究及び協議をするための会です。網代から留原は五日市トンネルを中心とした道路が完成しており、今後も建設の促進が期待されます。

総会当日は、東京都西多摩建設事務所工事第1課長から建設及び計画の進捗状況の説明があり、問題点など質疑が行われました。

## 地域公共交通に関わる講演会実施

平成23年度JR五日市線改善促進協議会総会



運輸調査局研究員 板谷和也氏による講演



あきる野市役所での総会

あきる野市、日の出町及び檜原村の議会で構成されているJR五日市線改善促進協議会の総会が、平成23年5月24日に開催されました。

総会終了後には「地域公共交通の現状と将来展望」という演題で、講演会が行われました。

## 三多摩市町村議会議長と各委員が集結

第49回三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会



東京自治会館での総会

三多摩上下水及び道路建設促進協議会の総会が5月30日に東京自治会館の講堂で開催されました。この会は、三多摩の水道・下水道・道路の建設促進を図ることを目的に、三多摩の市町村議会議長と各市町村3人の議員により組織されています。

第49回を迎える本総会では、市倉議長（当時）が監事として1年間の監査報告を行いました。

# インフォメーション

## Information

議会だよりに対するご意見・ご感想はこちらまで 〒197-0814 あきる野市二宮350番地 あきる野市議会事務局 TEL558-1111  
あきる野市ホームページ【<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>】

### 議会本会議を動画で見よう！

現在、議会のホームページでは、平成23年第2回定例会本会議の様態を録画配信しています。ぜひ、ご覧ください！

### インターネットで会議録と議会だよりもご覧になれます

あきる野市のホームページに市議会の会議録検索コーナーがあり、平成7年9月以降の本会議、常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会の会議録が掲載されています。

また、平成18年5月1日以降に発行した議会だよりもご覧になれます。

あきる野市ホームページの「あきる野市議会」から「会議録検索」「議会だより」を検索し、ご覧ください。

### 請願・陳情はお早めに

9月定例会では8月22日(月)までに提出された請願・陳情を審査します。

なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、お早めに議会事務局までご持参ください。

### 傍聴に行こう！

あきる野市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。

お気軽にお越しください。

平成23年第2回定例会  
傍聴者数は延べ65人でした。

### 総務、環境建設委員会で市内視察を行いました

平成23年6月14日(火)に開催された総務委員会において、所管事務調査が実施され現地視察を行ったのち、議論が行われました。



現地で説明を受ける総務委員他

#### 総務委員会視察場所

- 十里木地区の土砂災害警戒区域



五日市線立体化工事箇所  
説明を受ける環境建設委員他

平成23年6月16日(木)に開催された環境建設委員会において、付託された案件審査の前に、市内視察が実施されました。

#### 環境建設委員会視察場所

- 永田橋取り付け部
- 秋3・4・16号J R五日市線立体化工事箇所

\* 所管事務調査とは…

各常任委員会が分担している市の仕事について調べ、改善・改良すべきところを指摘したり、政策の提案などを行うこと。

### 9月定例会予定

8月30日(火)	本会議初日	一般質問
31日(水)	本会議2日目	一般質問
9月1日(木)	本会議3日目	一般質問
2日(金)	本会議4日目	議案審議
6日(火)	総務委員会	
7日(水)	環境建設委員会	
8日(木)	福祉文教委員会	
13日(火)	決算特別委員会	
14日(水)	決算特別委員会	
22日(木)	本会議最終日	委員長報告・追加議案審議

\* 午前9時30分から開会します。(変更となる場合があります)

### 次回議会だより発行予定

平成23年11月1日を予定しています。お楽しみに！

「日08月8 ㊦」・7冊

「月7 ㊦」・1冊

📄の📄📄



ク イ ズ

問1 市長提出議案は何件あったでしょうか。

- ① 7件
- ② 8件
- ③ 9件

問2 9月定例会はいつから開催予定でしょうか。

- ① 8月28日
- ② 8月29日
- ③ 8月30日

答えはP15の中にあります。



“さるすべり”と言ったほうが耳慣れているかもしれませんが。猿も滑り落ちそうな滑らかな幹の皮をもつことで「さるすべり」とも呼ばれています。

百日紅は、100日間花が咲いているといわれるほど長く花をつけるので、その名がついたといわれています。

フリル状の花びらがさわやかな雰囲気、見る人に癒しを与えてくれるとともに、暑さ厳しい真夏に、力強さも感じさせてくれる花です。

一度咲いた花がずっと咲き続けているように見えますが、実は、一つ一つの花は朝開いて夕方には散ってしまう一日花で、次々に花を咲かせていきます。

五日市駅前から小中野までの間には、街路樹として百日紅が植えられており、花の盛りには、とてもきれいな景観を作り出します。

夏の時期には百日紅のイベントも開催されます。ぜひ、この夏は百日紅を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今号では「今昔写真館」と「編集後記」はお休みさせていただきます。

表紙の写真



森の子コレンジャー  
(Morinoko CORANGER)

コレンジャーは「CORANGER」と表し、「CO」は協力、協同、協調というような意味の cooperation からとっています。森林レンジャーや地域の方、そして自然や仲間たちと協力して森づくりを行うという想いを込めた愛称です。あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく自然愛や郷土愛を持った人材を育てることを目指し、自然体験等の活動を行っていきます。

第1回 森の子コレンジャー活動

H23. 5. 15

